第2.1版

## C型肝疾患に対する経口抗ウイルス剤治療の長期予後調査票(2017年度調査)

<b>-</b> >+□	117	4	4	H	,_
ご担	=	Ή.	午	谷	17

整理番号

平素より「C型肝疾患に対する経口抗ウイルス剤の治療効果判定報告書」の収集・解析事業につきましては、格別のお力添えを賜りまして、まことに有難うございます。厚く御礼申し上げます。治療効果判定報告書をお送りいただいた下記患者様ですが、本治療終了後約\_\_\_年目を迎えられております。

(自治体担当者による匿名	名化符号)								
性 別	□ 男性	□女性		生年月	日	年		月日	
経口剤治療期間	開始日: <u>20</u>	年 月	日	~	終了日:	20 年	月	日	
診断名	□慢性肝炎	□ 肝硬変(	判明して	いれば	☐ F0	☐ F1 ☐	] <b>F2</b> [	F3	F4
使用した経口剤	□ ソホスブ	ンビル/ダクラ <u>イ</u> ごル/レディパス	スビル		ホスブビル/ の他 ( <u> </u>	リバビリン			)
□ 再燃(投与終了	効果判定時:2 76ヶ月後もHCV F 7時はHCV RNAM ずを通じてHCV RI	RNA陰性を持続 陰性であったがる	) その後再降	場性化)	□Breakth □判定不能	rougn R ら	NAが経口	消失していた 1剤投与中1 生化すること	こもかかわ
つきましては、直近 ます。	のご病状につい	て、下記の追	加データ	国立 中央 〒16	デ協力賜りま 研究開発法 検査部門 臨 2-8655 東頭-3202-7181	人国立国際 床検査室 京都新宿区	発医療研 医長 正2	究センター <b></b> ト尚彦	
						記入	日:20	年	月日
1. 現在の通院も □ 通院中 □ 死亡(□ 2. 経口剤治療線	□ 通院中断 肝臓関連死 □	(その理由: 〕肝臓非関連	死 🗌	死因不明	明);死亡年』	月日:20 _	_年 <u></u>	) 月	日;□不明
		治療終了1年目 治療終了2年目 最終生存確認日						$\neg$	
	20 年		日 20	年	月	日 20	年	月	日
	【 ( ) □ Log copy/mL 図日までの肝が □ 肝がん発症	あり(初発)	は再発の (診断	確定日:		Log cop		ケンシュツセズ LogIU/mL	
4. <b>非著効例</b> (再爆								<b>ご</b> 教示下さ	い。

ご協力まことに有難うございました。後日お問い合わせする場合がございますが、 引き続きよろしくお願い致します。

(本調査は国際医療研究開発費「ウイルス性肝疾患に関する全国規模のデータベース構築および肝炎医療の均てん化に資する研究(27指1301)」の一環として遂行しております)